

11 疾病 保障

家族みんなの安心のために

生活習慣病団信α(がん先進付)のご案内

死亡・所定の高度障害状態

医師の診断書等で保険会社に余命6か月以内と判断された場合

ローン残高が 0円

充実したがん保障

(所定の悪性新生物) **がん** と診断確定されたら

ローン残高が 0円

(所定の悪性新生物) **がん** と診断確定されたら

給付金※ 100万円

上皮内がん と **皮膚がん** と診断確定されたら

給付金※ 50万円

がん(所定の悪性新生物)を原因とする **先進医療** を受けたら

通算給付金 1,000万円 (1回の先進医療につき500万円を限度)

さらに充実した入院保障

短期 **5日以上入院** したら

給付金※ 10万円

中期 **さらに入院が長期化** したら (31日以上の連続入院)

給付金※ 月々のローンの返済額を保障

長期 **10種類の生活習慣病で入院が180日以上継続** したら

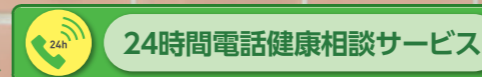
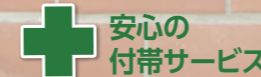
ローン残高が 0円

配偶者のがんも保障

ローン借入者の (所定の悪性新生物) **配偶者** が **がん** と診断確定されたら

給付金※ 100万円

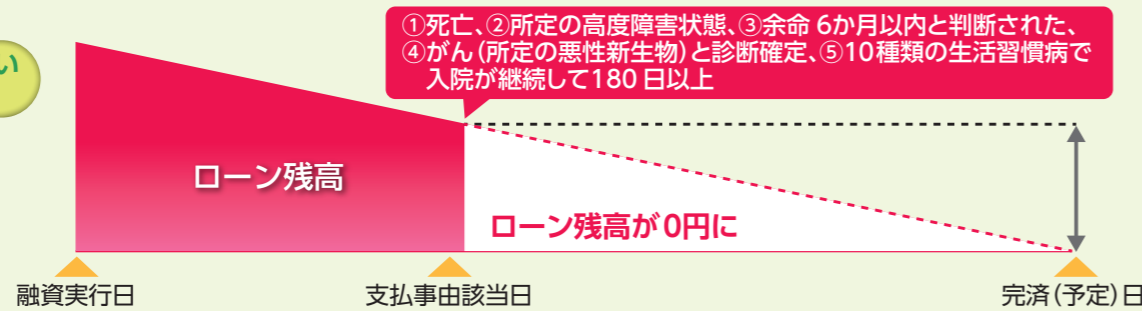
※給付金のお支払いにはそれぞれ支払回数に上限があります。詳しくは、本資料裏面または「被保険者のしおり」をご確認ください。



お支払いする保険金・給付金

保険金・給付金の種類	支払事由	保険金・給付金
①死亡保険金	保険期間中に死亡したとき	ローン残高 0円
②高度障害保険金	責任開始日以後に生じた傷害または疾病が原因で、保険期間中に所定の高度障害状態になったとき	
③リビング・ニーズ特約保険金	保険期間中に医師の診断書等で保険会社に余命6か月以内と判断されたとき	
④がん診断保険金	責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中にがん(所定の悪性新生物)に罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたとき	
⑤生活習慣病長期入院時保障保険金	保険期間中に10種類の生活習慣病で入院が継続して180日以上となったとき	
⑥がん診断給付金(本人型)	責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中にがん(所定の悪性新生物)に罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたとき ※お支払いは1回のみ	100万円 (1回限り)
⑦がん先進医療給付金	対象のがん(悪性新生物)*と診断確定された日から1年の間に、そのがんを直接の原因として先進医療による療養を受けたとき *がん診断保険金等が支払われることとなった場合のそのがん(悪性新生物)を指します。	通算1000万円 (1回500万円限度)
⑧上皮内がん診断給付金 皮膚がん診断給付金	責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中に上皮内がん(上皮内新生物)、または皮膚がん(皮膚のその他の悪性新生物)に罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたとき ※お支払いはいずれか1回のみ	50万円 (1回限り)
⑨がん診断給付金(配偶者型)	ローン借入者の配偶者が、責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)経過後の保険期間中にがん(所定の悪性新生物)に罹患したと医師によって病理組織学的所見(生検)により診断確定されたとき ※お支払いは1回のみ	100万円 (1回限り)
⑩入院一時給付金	保険期間中に傷害や所定の疾病で入院が連続して5日以上となったとき ※保険期間内で通算して最大12回まで	10万円 (12回限度)
⑪初回入院給付金	保険期間中に傷害や所定の疾病で入院が連続して31日となったとき	毎月のローン返済額 (1入院5回、36回限度)
⑫継続入院給付金	保険期間中に初回入院給付金の支払事由が該当日の翌日以降の入院日数が、継続して30日に達すること ※⑪⑫あわせて継続した入院に対して最大5回、保険期間内で通算して最大36回まで	

保険金のお支払いイメージ



入院時の保障イメージ



※ローン借入者が、①～⑤の保険金支払事由に該当した場合、保険金が金融機関に支払われローン債務の返済に充当されます。
 ※ローン借入者が⑥～⑫(⑨を除く)の給付金支払事由に該当した場合、給付金がローン借入者に支払われます。
 ※⑥、⑧、⑨はそれぞれ、同一被保険者につき1口のみご加入いただけます。
 ※⑦は、被保険者がクレディ・アグリコル生命を通じて1口のみご加入いただけます。
 ※⑩⑪の「所定の疾病」とは、疾病から精神障害を除き、異常分娩を加えたものをいいます。
 ※ローン借入者の配偶者が⑨に該当した場合、給付金が配偶者に支払われます。
 ※保険金・給付金の詳細については、「被保険者のしおり」を必ずご確認ください。
 ※生活習慣病団信α(がん先進付)とは、クレディ・アグリコル生命の団体信用生命保険に、団体信用生命保険リビング・ニーズ特約、団体信用生命保険がん保障特約(2013)、団体信用生命保険生活習慣病長期入院時保障特約(1型)、団体信用生命保険入院一時給付特約、団体信用生命保険入院日数累計型月次債務返済支援給付特約、団体信用生命保険がん診断給付特約(本人型)、団体信用生命保険がん先進医療給付特約(本人型)、団体信用生命保険上皮内がん・皮膚がん診断給付特約(本人型)、団体信用生命保険がん診断給付特約(配偶者型)が付帯されたものです。

ご加入にあたっては、「被保険者のしおり」を必ずご一読いただき、保障内容の詳細をご確認ください。

【保険契約者】



【引受保険会社】

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル

【お問合せ先】

カスタマーサービスセンター 0120-60-1221

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00(祝休日・年末年始の休日を除く)

がんの保障

安心の
お見舞金つき

死亡・所定の高度障害状態、
余命6か月以内と
判断されたときの保障に加え

がん(所定の悪性新生物)^{*}と
診断確定された場合

ローン残高が

0円

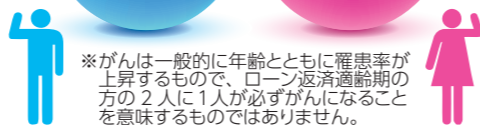
がんの保障

- 初期のがんでもローンは0円に
- がんが治った後もローンは0円のまま

およそ2人に1人が一生のうちに
がんと診断される可能性があります

がんの罹患リスク

男性 65.5%
女性 50.2%

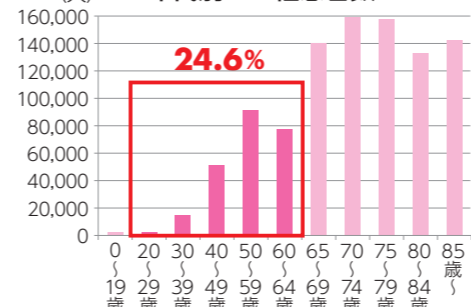


※がんは一般的に年齢とともに罹患率が
上昇するもので、ローン返済適齢期
の方の2人に1人が必ずがんになること
を意味するものではありません。

出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2021」
年齢階級別罹患リスク(2017年罹患・死亡データに基づく)

がん罹患者の約4人に1人は
就労世代です。

年代別がん罹患患者数



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録)
全国がん罹患データ(2017年~2018年)

がんは全身あらゆる部位に
発生します。

がんの部位別罹患状況

順位	部位	罹患数	割合
1位	前立腺	9.5万人	16.5%
2位	胃	9.0万人	15.6%
3位	大腸	8.8万人	15.4%
4位	肺	8.5万人	14.8%
5位	肝臓	2.7万人	4.7%

順位	部位	罹患数	割合
1位	乳房	9.4万人	21.9%
2位	大腸	6.8万人	15.7%
3位	肺	4.2万人	9.7%
4位	胃	4.0万人	9.4%
5位	子宮	2.8万人	6.6%

出典：国立研究開発法人国立がん研究センター「2021年のがん統計予測」

「がん」罹患後に勤務先を
退職する方も珍しくありません

がん罹患後の就労状況の変化(お勤めの方)

43.4%の方は 収入が減少する 可能性があります	30.5%
依願退職した	8.7%
休職中である	4.2%
解雇された	47.6%
現在も勤務している	9.0%
その他	

厚生労働省「がんの社会学」に関する合同研究班
「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書(概要版)」より
クレディ・アグリコル生命が作成

がん(所定の悪性新生物)^{*}
と診断確定されたら

100万円

上皮内がん・皮膚がん
と診断確定されたら

50万円

がん(所定の悪性新生物)^{*}を原因
とする先進医療の療養
を受けたら

1,000万円

※支払回数の上限やご加入いただける人数などの詳細は、本資料裏面または被保険者のしおりをご確認ください。
※「上皮内がん」や「皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん」はがん診断給付金・がん診断給付金のお支払いの対象となりません。また、責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)以内にがん(所定の悪性新生物)、上皮内がん・皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん
と診断確定された場合には、がん診断給付金・がん診断給付金・上皮内がん・皮膚がん診断給付金は支払われません。

(1回の先進医療につき500万円を限度)

入院の保障

病气やけがで

入院が連続して
5日以上
となった場合

一時金

10万円

短期入院
の
保障

病气やけがで

入院が連続して31日以上
となった場合

月々のローンの

返済額を保障

中期入院
の
保障

10種類の生活習慣病で

入院が継続して180日以上になった場合

ローン
残高が

0円

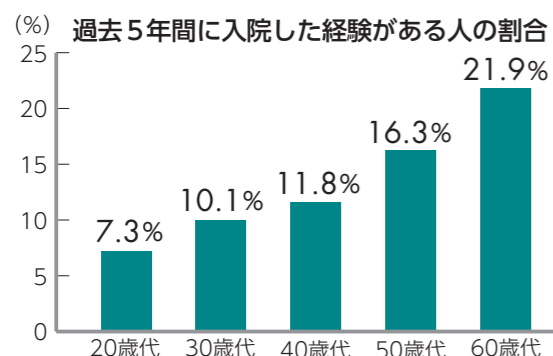
入院が
長期化した
ときの保障

10種類の生活習慣病

- 糖尿病 ●高血圧性疾患 ●腎疾患 ●肝疾患 ●慢性膵炎 ●脳血管疾患
- 心疾患 ●大動脈瘤および解離 ●上皮内新生物 ●皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん

※複数回入院を繰り返した場合、1回の継続した入院とみなす場合があります。詳しくは「被保険者のしおり」をご確認ください。

約7人に1人は入院経験が
あります



生命保険文化センター「平成28年度 生活保障に関する調査」から抜粋

日常のさまざまなけがや病気で
入院する可能性があります

おもな傷病の平均入院日数

疾病名	平均入院日数
気管支炎	6.2日
尿路結石症	7.7日
外耳炎	8.6日
喘息	8.6日
骨折	37.2日

平均
入院日数
29.3日

厚生労働省「患者調査の概況 平成29年」から抜粋

生活習慣病の患者数は年々
増加傾向にあります

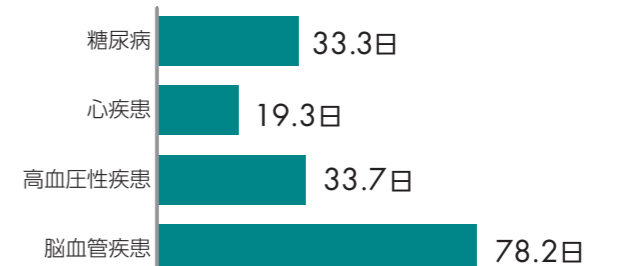
生活習慣病患者数の推移

おもな生活習慣病	平成23年	平成29年
悪性新生物	153万人	178万人
糖尿病	270万人	329万人
高血圧性疾患	907万人	994万人
心疾患(高血圧性疾患除く)	161万人	173万人
脳血管疾患	124万人	112万人
肝疾患(ウイルス肝炎含む)	48万人	25万人

厚生労働省「患者調査の概況(平成23年、平成29年)」から抜粋

生活習慣病の入院は長期に
およびこともあります

平均入院日数



厚生労働省「患者調査の概況 平成29年」から抜粋

配偶者がん保障

ローン借入者の配偶者が、
がん(所定の悪性新生物)^{*}と
診断確定されたら

※「上皮内がん、皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん」はお支払いの対象となりません。また、ローン実行日前あるいはローン
実行日からその日を含めて90日以内にがんと診断確定された場合にはお支払いの対象となりません。

100万円

自由に使い道を
お決めいただけます!

女性特有のがん以外も
保障の対象です!

- ローン残高にかかわらず支払われます。
- 配偶者本人に支払われます。



通院中の
ベビーシッター代

家事代行
サービス

ご存知
ですか?

『先進医療』

先進医療とは、厚生労働大臣が承認した公的医療保険の給
付対象とならない高度な医療技術のことで、医療技術ごと
に適応症(対象となる病気・けが・それらの症状)および実施
する保険医療機関(高度な技術を持つ医療スタッフと施設
設備を持つ大学病院など)が特定されています。「先進医療
にかかる技術料」は公的医療保険制度の給付対象とならな
いため全額自己負担となり、高額となる場合があります。

先進医療(自由診療)

保険診療

自己負担(全額)

自己負担(約3割)

公的医療保険が負担(約7割)

技術名	費用1件あたり	主ながん
重粒子線治療	約308万円	頭頸部がん、肺がん、肝臓がん、 膵臓がん、前立腺がん、 子宮がん、骨腫瘍 など
陽子線治療	約269万円	

※左記先進医療にかかる技術料は、医
療機関によって金額が異なります。ま
た、具体的な先進医療技術やその適
応症については、変更されることが
あります。厚生労働省ホームページ
にてご確認ください。

※厚生労働省「先進医療の実績報告に
ついて」令和元年度実績報告